



毎日、寒い日が続いていますか、みなさんお元気ですか。わたしたち帝釈小学校の児童13名は、みんなで元気に勉強やスポーツをがんばっています。今年も児童委員で愛鳥カレンダーを作りました。それぞれの季節に見られる鳥を標本や図鑑を見て描きました。不十分な所があるかもしれませんが、どうぞお愛ください。わたしたちは、これから冬の鳥のためにえさかけをします。これからも愛鳥活動を続けていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

平成19年 12月
帝釈小学校 児童委員会・愛鳥委員会

校長先生、教職員のみなさん
若草児童会、愛鳥委員会のみなさん
心温まる贈りものありがとうございました。



〒729-1360
広島県神石郡神石高原町永野2549の1
TEL(0847)8610215
FAX(0847)8610045



【2008年1月15日発行】

1 2008 JANUARY/睦月
H.P/ www.naganomura.com
e-mail naganomura@image.ocn.ne.jp

大根の酢漬1

- 材 料**
- ①大根…10kg
 - ②酢…1.5合
 - ③塩…350g
 - ④砂糖…500g
 - トウガラシ…少々
 - 昆布…少々

作り方 大根の皮を取って、10kgの大根に対し、350gの塩をまぶして、10日ぐらい重石をのせておきます。漬けておいた大根をあげて、次に酢・砂糖・トウガラシを少々と昆布を混ぜ合わせて本漬します。水が上にのりますとしばらくしてから食べられるようになります。

さざんかの会 No.3

我が家の一品!!

大根の酢漬2

大根10kgの皮を取り、塩3合を入れる。10日位で水が出るので大根を取り上げる。酢3合と砂糖800gを入れて置しふたをし、重石をしておく。保存は5ヶ月位。お好みにより塩や砂糖を加減する。色粉を入れるのもよいでしょう。



大根漬(はりはり漬)

- 材 料 & 作り方**
- ①大根…2kg 皮をむいて小口切りまたはいちょう切りか半月切り…2~3mm
 - ②塩…大さじ3 大根と混ぜて重しをして一晩おく
 - ③たれ【A】酢…20ml 【B】砂糖…300g 【C】かきしょうゆ…400ml (A・B・Cをよく煮立たせる)
 - ④生姜…千切り ⑤ゴマ(④・⑤をたれの火を止め熱い時に入れる)
- 食 べ 方** たれが冷めたら大根をよくしぼり、たれの中に入れてゴマをふる。

毎日の食卓に欠かせない一品です

一品料理の受付は
FAX 0847-86100
45 ながの村まで

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

皆さまも新しい年を恙なく迎えられることを心からお慶び申し上げます。そして年賀状を戴いた皆さまには重ねて厚くお礼申し上げます。

山陽テクニカ協同組合様、西日本コンストラクション協同組合様、協同組合P・F・U様、ワールドネット(株)様、O・S・J(有)様、(有)フィットメイク様、若井被服(株)、(株)成晃繊維様、(株)さくら様、永野郵便局様、(株)



2008(平成20)年 新年を迎えて

アドブレイン様、東京都赤木勝利様、熊本県見永尚之様、広島市三浦雅史様、広島市横山亨様、福山市春石シゲ子様、成晃繊維研修生(丁志強様、周銀花様、華秀平様、沈建様、孫昌朋様)

さて年末ながの村にも全国的な寒波の中10〜20センチの積雪があり一週間経ってもまだ日陰には雪が残っています。ながの村の初仕事は7日より広報誌編集委員会ではじまりました。でも嬉しいことに年末から新年にかけて、ロッククライマーが清沢山荘を利用され、中村運営委員長に対応していただきました。ありがとうございました。

今年には中国人研修生が7月と、11月に30人以上で連続20日間の予約が入っています。今後、福山市高島小学校、福山市走島小学校等の学校行事、近辺の子供会行事、一般の企業新入社員研修(交渉中)運動会へ福山平成大学生の参加と民泊等企画しています。

帝釈小学校
わかくさ児童会
愛鳥
カレンダー紹介

昨年8月に庄原市帝釈小学校が体験学習で幻の鍾乳洞に入りました。学校の一年間のまとめで、愛鳥カレンダーを作成してながの村に届けてくださいました。毎月ご紹介致します。



より多くの都市農村交流になればいいと思います。

今後ともより以上のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶

村長 土屋洋三

「(株)知性アイデアセンター」 「ながの村取材報告書」

全国に2,900ある「限界集落」

人口の50%以上が65歳以上の高齢者となり、冠婚葬祭など地域の共同生活の維持が困難となった集落は「限界集落」と呼ばれ、国土交通省が06年に(平18)に行った『集落状況調査』によれば、全国に約2,900の限界集落がある。高齢者⇨弱者という図式は強まる一方だが、ある山奥に暮らす人々が、生き残りを図り、地区人口の半分を占める高齢者自身も元氣を取り戻している。

広島県神石郡神石高原町にある「ながの村」は行政単位ではなく、神石高原町永野地区の住民が、地区を存続させる意気込みを込めた自治組織で「村」を自称している。地区内には90世帯、250人が生活しているが、地区の高齢者率は50%で朽ち果てた廃屋も点在する。

「村」を自称し、村長もボランティア
永野地区の将来を案じた

住民たちは、91(平3)に「永野を考える会」を結成し、狭く未舗装の不便な県道の整備を町役場に申請した。ところが「人が通らない道路の整備はできない」と拒否されたため、観光資源を開発し、外部からの交流人口を増やし、道路整備の理由にしようと考えた。「永野を考える会」メンバーは、昭和初期の広島県の資料を頼りに、地区内の鍾乳洞探しを始めたものの、半世紀以上前の調査であることに加え、正確な場所を知る住民がいなかったため、搜索は困難を極めた。メンバーだった赤木太朗さん(60歳)は「鍾乳洞を発見し、内部を掃除するまで2年ほどかかったが、当時の経験が地域おこしの原点となっている」と話してくれた。

地域のシンボルだった永野小学校は、02年(平14)3月に閉校したが、跡地の活用が検討された結果、翌03年(平15)4月、永野小学校はコミュニティセンター兼宿泊施設「ふれあいセンターながの村」として生まれ変わった。ながの村の土屋洋三村長(64歳)は「自分の仕事

は交流人口を増やすと同時に、従来の住民同士のコミュニティケーションを手伝うこと」と語る。公募で選ばれた土屋村長は、中学校長だった経験を生かして、ボランティアで村長役を引き受けている。

中国人研修生を誘致して 交流を図る

「ふれあいセンターながの村」は、定期的に広島県内のメーカーに出稼ぎにくる中国人研修生の就業前研修施設として利用され、取材時は約40人の研修生が宿泊していた。

研修生は20〜30代で、日本語の会話やビジネスマナーを3週間学ぶ。研修生の食事は、地域の主婦が交代で担当し、自分で育てた野菜を無償で差し入れるお年寄りもいる。

さらに毎年6月に開催される村の運動会は、人口250人の地区に大勢が訪れる特別な日で、住民や研修生、広島県内の大学生もボランティアで参加し、総勢180人ほどが集まって校庭は歓声に包まれる。お年寄りたちも実に嬉しそうで、お昼時には、

地元住民と研修生たちが仲良くお弁当を食べ、交流を深めていた。



人権学習のご案内

2008年2月15日(金)午後6時30分から住民のみなさんで、人権学習をいたします。

今回は「心の叫びが聞こえますか〜いじめ、自殺を考える〜」のテーマで、35分間のDVDを流します。

ひとりでも多くのご参加を是非お願いいたします。